

# 五木地域における林業の成長産業化に向けた今後の取組について (森林整備推進協定地域における具体的な取組)

	項目	具体的な取組
①	森林情報の共有・活用	<ul style="list-style-type: none"><li>・GISデータの活用研修</li><li>・共通図面(GISデータ含む)の継続的な更新</li><li>・航空レーザーデータ計測による立体図の導入</li></ul>
②	路網整備の戦略的展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・個別要望箇所の行政も交えた支援と検討</li><li>・路網シミュレーションソフトの活用による効率的な線形検討</li></ul>
③	生産・流通コストの低減	<ul style="list-style-type: none"><li>・協定者間による協調出荷の検証と需要者ニーズも情報共有</li><li>・生産性向上や山元仕訳、検収等コスト削減に向けた個々の取組の共有と実践</li><li>・高性能林業機械の共同運用</li></ul>

	項 目	具体的な取組
④	主伐から造林・保育に係る トータルコストの低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一貫作業システムの技術向上と定着に向けた検討会の実施</li> <li>・シカ被害軽減に向けた技術共有と実践</li> <li>・コンテナ苗植栽、下刈軽減等事例情報の共有と実践</li> </ul>
⑤	施業技術の開発・実証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローンを活用した索張技術の実践(タワーヤーダー)</li> <li>・次世代造林プロジェクトでの現地検討会</li> </ul>
⑥	林業事業体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の安定確保に向けた事業情報の公開</li> <li>・川下需要者のニーズに対応した造材技術向上への取組</li> </ul>
⑦	新たな需要への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州で需要者が限られるヒノキ材の新たな販路検討(輸出も含めて)</li> <li>・新たなマーケット情報の共有と供給の検討</li> </ul>